

北区飛鳥山博物館運営協議会での検討事項

これからの博物館について

【昨年度のご意見のまとめ】

- 1) 「グループ活動と博物館との関わりに関する活動」に関するご意見
 - ・北区飛鳥山博物館のミッションの一つでもある「人と人とが共感しあえる博物館」をめざすためには、どういう形で共感というものになるのかを「見える化」にする段階に入っている。そこで区民との共同調査という活動に踏み込んで、その活動成果を公表することが「見える化」になるのではないだろうか。
 - ・区民の方々に心の豊かさを持っていただく、そのように思ってもらえるような活動を志向すべき。

- 2) 「学校教育と博物館との関わりに関する活動」に関するご意見
 - ・実物資料を見る機会、できれば触れる機会を増やすことが必要。博物館で授業ができる、そんな場所を提供していただけると深まりがある。
 - ・博物館を利用したくても博物館との距離がネックになる。学校によって博物館と接する形が異なってしまふ。できたら学芸員に学校に来てもらいたい。
 - ・学校の教員に博物館の利用についてわかりやすく理解できる方法がほしい。例えば教員向けの講座や案内リーフレット、HPの特設ページなど。

【取り組みの検討】

- 1) 「グループ活動と博物館との関わりに関する活動」に関する取り組み
 - ① 共同調査・研究の実施
 - 区民（利用者）や学生・生徒と北区の歴史や自然、文化に関して共同して調査を行う。調査はフィールド調査の他、実験調査などを行う。調査の成果は展示や発表、冊子への掲載などを通じて公表する。

- 2) 「学校教育と博物館との関わりに関する活動」に関する取り組み
 - ① 学校見学と出張授業の拡充
 - これまで個別に対応していた学校見学と出張授業に対して、新たにメニューを確立し、一律にご案内し希望校を募る。どちらも実物資料を用いた内容とし、体験もできるようにする。

② 学校教員の博物館資料活用の推進

過去に博学連携委員会において開発を進めた「博物館資料貸出キット（案）」を見直し、貸し出しにともなう環境の整備を行い、段階的にキットを充実させていく。

③ 学校教員の博物館活用の促進

学校に博物館を活用してもらうために、博物館の概要や、博物館でどんなことができるのかなどを教員に知ってもらう。そのために教員向けの講座や利用ガイドなどを整備する。また、学校側の要望などを伺ってそれを反映するための体制を整える。

【取り組みのスケジュール（案）】

年度(令和)	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
取り組み事業										
1)－① 共同調査・研究の実施				調査	検討	まとめ	実施	継続	継続	見直し
2)－① 学校見学と出張授業の拡充			検討	まとめ	実施	継続	継続	見直し		
2)－② 学校教員の博物館資料活用の推進	見直し	検討	まとめ	実施	継続	継続	見直し			
2)－③ 学校教員の博物館活用の促進	検討	まとめ	実施	継続	継続	見直し				